



ランチ交流会開催 2023年12月9日(土)

会場 THE KITCHEN PLATFORM



12/9(土)郡山のTHE RESTAURANTにて「ランチ交流会」を開催いたしました。キッチンセミナーから1年、講師の本間美紀先生をお迎えして急遽だった交流会が実現し、心より嬉しく思います。

THE RESTAURANTは地産地消を大切に、四季折々の旬の食材を様々な料理で提供しています。その再帰は色彩豊かで、素材の良さを活かした美味しいお料理の数々でした。
「KIHACHI」レストラン部門の料理長をされていた鈴木 眞雄シェフがエグゼクティブシェフを務めていらしたというのもうなづけます。

東京より元料理人で現在ハウスメーカー勤務の齋藤さんも加わり、プロ仕様のキッチンや風呂でつくられた美味しいワインのお話など、純粋な喜びを分かち合おうと…そんな楽しいひと時でした。最後に、賛助会員様よりご提供いただいたプレゼントをお渡しさせて頂きました。 吉吉美千代



東京インテリア&キッチンショールーム見学会 2024年 3月5日(火)



カッシーナ



バルクチャーネ



本間美紀先生

今回の見学会、おそらく個人的に行くこともないような所ばかりでした。吉吉会長他、企画してくださった方に感謝です。そして何より各メーカーの担当者よりも少ない言葉で丁寧よく解説くださった本間先生の対応力、素晴らしいです。

カッシーナの色と素材の違い、シーマティックの収納、B&Bの強者のさりげなさ、バルクチャーネの軽人技のきいたアクセントパネルと、箱ではなくアルミパネルの状態での運搬、モルターニの収納そのものが部屋になっている空間、そして最後に身近なワクワクが楽しめるアクラス。予約シートのおかげで、なるほどと思うことたくさんありました。(参加されなかった方、ごめんなさい。これではわかりませんよね、各HPなどをご覧ください)

予約シートの中で、これみたいなのと聞いたのが、シーマティックのガラス+ホワイト+ピンクのキッチン。画像よりもすんたピンクにびっくりでした。写っていないところに木目の壁のような収納があり、全体が暖かいイメージで納得。部分だけを見ていたチャームですね(C失格)

今回の見学会では、自分の生活レベル以上のもので感動することができたのがよかったです。そして今更ですが、設計されたものをコーディネートするのではなく、設計の段階からICがかかわっていいことが必要だと感じました。

最後になりますが、その日のうちにカッシーナの担当者から来店お礼のメールが届き、まだ新人だったころ「お礼のメールは送らない」はすぐに出来るように用意しておきなさい。と教えられたことを思い出しました。時代が変わって人と人のつながりが大切だというのは変わらないものだと感じました。 松本 りか



シーマティックにて

FIC news

賛助会員様新商品発表会開催

今年度の展示会はリアル開催になり、たくさんの方でにぎわっていました。



(株)サンゲツ



トーソー(株)

令和5年	6月9日(金)	東北支店仙台ショールーム
・リリカラ(株)	6月9日(金)	せんだいメディアテーク
・立川ブラインド工業(株)	6月20日(火)	(株)ローレル
・リリカラ(株)	7月6日(木)	せんだいメディアテーク
・トーソー(株)	7月13日(木)	せんだいメディアテーク
(株)サンゲツ		
令和6年	2月6日(火)	せんだいメディアテーク
・(株)サンゲツ		

新会員のご紹介

吉田 恵子さん

生年月日: 1992年9月19日
出身地: 福島県福島市
会社名: 種水ハウス株式会社

新しく入会させて頂きました吉田 恵子と申します。展示場内務社員として住宅業界で勤務して今年で8年目になります。2年前にIC資格を取得したのは「お客様へのプレゼン資料で素敵なイメージを作成して楽しいお打合せをして頂きたい」と思ったことがきっかけでした。インテリアに精通されているFICの皆さまと関わることができ、熱意への参加は大変貴重な機会とありがたく感じています。知見を深め今後のよりよい人生の糧としていきたいと思います。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会員様新商品紹介

林 孝至さん

生年月日: 1994年4月10日
出身地: 福島県福島市
会社名: 株式会社サンゲツ

こんにちは。株式会社サンゲツ福島営業所の林と申します。社歴としては、2017年にサンゲツへ入社後、半年間の研修を経て、夏頃で2年、東京都で4年勤務後、福島県へ昨年8月に着任いたしました。1994年4月10日生まれて、今年で30歳になります。4月10日は、「インテリアを考える日」であり、この業界で活躍するために生まれてきたと言っても過言ではありません。2024年夏ごろに、リザーブ(壁紙)・シンプルオーダー(カーテン)のカatalogを発売いたします。皆様へご紹介できる日を楽しみにしております。

事務局だより

コロナが収束してから少しずつイベントの活動も復活してきました。今年度は、キッチンハウスのツアーから始まり、これからの新しいキッチンの在り方の説明はとて、勉強になりました。また、いわきの良藤園の説明には、古くから受け継がれ日々で使われている物たちを、大切に思う気持ちを改めて知る機会となりました。3月行った東京での最新のキッチンメーカーの見学会+THE KITA見学会は、本館先生の的確な説明によって実際に目で見て体験することがいかに重要であるか、など今年も多くを経験した1年でした。これからも、もっと多くの方と団体であるがゆえに実現できる企画を一緒に考えていきたいと思います。事務局 佐藤 悦子でした。

FIC概要

- 名称/福島県インテリアコーディネーター協会 Fukushima Interior Coordinator Association
- 設立/平成3年5月 ■会員数/正会員 27名 賛助会員 20社(令和6年6月現在)

現在、多くの人々が自分のライフスタイルに合った快適な住空間を持ちたいと願っています。住まいづくりとインテリアの演出を担っているインテリアコーディネーターの役割は、ますます不可欠になることと見られます。当協会は、消費者と業者の架け橋になるべく、平成3年5月に「福島県インテリアコーディネータークラブ」として発足致しました。当会は、会員の互恵と感性の向上をはかり、県内の地域住民の方々の役に立つことを第一とし、研修、講演会、研究会、見学会による情報・技術の交換、会員相互の連携、その他、目的達成に必要な事業など、様々な活動を行っており、またインテリアコーディネーターの役割を広く理解して頂き、よりよい住まいづくりのお役にたてるよう啓蒙活動も社会貢献を行っています。

FICプレス No.53

2024年6月12日発行
編集・発行/福島県インテリアコーディネーター協会
広報委員会
事務局/〒980-8104 福島市亘田町4-22 佐藤
Tel.090-6224-2933
https://fukushima-icclub.com/



編集後記

お正月早々に能登半島地震や羽田空港の事故があり、改めて日常の大切さを思い起こしました。昨年コロナも落ち着いた影響もリアルになり、久しぶりのバスでの見学会ツアーも開催出来て大人のリフレッシュを楽しみました。世の中もFICも活気に戻ってきたのを実感します。皆様のご協力いつもありがとうございます。ホームページ、会員のページもご愛読ください。 斎藤 悦子



Fukushimaken Interior Coordinator Association

No.53

2024年6月12日発行



画像: モルターニ 東京

令和5年度定時総会&セミナー開催

2023年6月14日(水)13:00~ 会場/ビッグバレットふくしま

ご挨拶

早いもので、就任から2年が経とうとしております。様々な活動が進展できたことは会員の皆様のご協力と、賛助会員の皆様のご支援によるものと心から感謝申し上げます。

就任時に掲げたテーマ「つながる」は、「新たな場所や取り組みとつながる」だけでなく「人と人がつながる」ことの大切さを改めて実感した2年間でもございました。

一昨年で開催された本間美紀先生によるインテリアキッチンセミナーを契機に、昨年7月に「kitchen house tour in IBARAKI」、12月にはTHE RESTAURANTでのランチ交流会を開催することができました。

そして2024年3月開催の「東京インテリア&キッチンショールーム見学会」では世界のトレンドを牽引するインテリア・キッチンのショールームにて世界観を体感することができました。

また、11月にいわきで開催した「民藝展見学会」では、「生活の中の美、民藝とは何か」日本の手仕事のすばらしさを学びつつ、会員、賛助会員の皆様との交流の時間を過ごすことができました。

他にも、各企業による新商品発表会や商品説明会が通常通り開催されるようになり、オンラインにはない「見て、触れて、感じる」良さを実感することができました。

様々な活動を通して「インテリア」というキーワードの基、会員の皆様のスキルアップと賛助会員の皆様の情報発信の場としてインテリア業界の活性化に貢献していきたいと考えております。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

FIC会長 菅古 美千代

<定時総会>

令和5年度の定時総会が開催されました。会員49名の内参加者24名 委任状12名 計36名で過半数を超え、総会は成立しました。半分くらいの方はマスクを着用していましたが、やっと通常の総会になってきました。



議案は5号議案の名称変更まで承認され、本協会名は福島県インテリアコーディネーター協会となりました。賛年親しんだ名称も今後は協会と改めますが活動内容は変わらずより良いものにしてまいります。

<インテリアスキルアップセミナー>

【第1部】スペシャルトークセミナー

時間/14:00~15:00
スピーカー/伊藤 千晶氏 (イツツ+dosing/KUKKA)
ナビゲーター/菅古 美千代



【モダンリビング2022インテリアスタイリングデザイン賞ノミネート】大変おめでとうございます。テーマ「インテリアをより美しく」と題して、菅古さんとの対談形式はとても良い内容でした。デンマークのファブリック生地(Kvadrat)のウォールオブジェ・ADOVANのタイル・玄関やキッチンに貼られた商品は空間のイメージをとても良いものにされていて素敵だなと感じました。山形縣通に実際に足を運ばれて商品をオーダーされたりとその行動力にはさすが！伊藤さんですね。こうなりたいと思うきっかけは何処にあるかわからないですね。これからも福島県インテリアコーディネーター協会を通じて素敵なインテリアを沢山見せてください。ありがとうございました！

星 麗江

【第2部】サンゲツ新商品発表+インテリアトレンドセミナー

時間/15:15~16:15
スピーカー/(株)サンゲツ東北支店
レジデンシャルデザイン室 菅野 文氏



【懇親会】

肉と野菜の農家イタリアン Arigatoにて

時間/18:00~20:00



久しぶりの懇親会、皆さん和気あいあいと楽しっていました。

kitchen house tour in IBARAKI 開催 2023年9月5日(火)

参加者 会員 15名 一般 3名

9月5日(火)kitchen house tour in IBARAKIが開催されました。朝7時30分郡山出発、皆さん早起きして参加されました。茨城まで3時間と長距離の移動でしたが、台風で心配されたお天気も茨城は快晴に恵まれ、久しぶりに楽しいバスツアーとなりました。廣澤美術館見学後kitchen house つくばショールームを見学してきました。



文字通り巨石に覆われた外観は圧巻でした。

廣澤美術館見学

廣澤美術館は茨城県筑西市にあります。ザ・ヒロサワ・シティーという東京ドームの2倍ほどの敷地にあるテーマパークの中にある美術館です。建築家、隈研吾氏の設計で巨石に覆われた「石が主役」の美術館で、2021年1月に開館しました。作庭家の青嶋一氏による日本庭園、ランドスケープアーキテクトの宮沢俊作氏設計庭園の庭は建築とともに大きな見どころになっています。



kitchen house つくばショールーム見学

kitchen houseは、ドイツ製システムキッチンの輸入販売から始まった高級システムキッチンの専門店です。その後、日本の生活に適したキッチンの開発、製造のために自社工場を立ち上げ、様々な研究開発を行っています。2700坪という広い敷地に建てられたショールームも広々として、1つ1つのキッチンがゆったりと展示されていました。キッチンの壁面タイルや食器、カトラリー、小物までトータルコーディネートしており、飽きずに見て歩くことができました。家族が集まるキッチンは住宅のかげとなる大切な場所。暮らしに合ったキッチンをじっくり選べる高級なショールームでした。



9/5 kitchen house tour in IBARAKIに参加いたしました。

【廣澤美術館】

隈研吾の設計らしく竹と木組みのデザイン。全国から集められた約6,000、1,500個の巨石が主役。地元 筑西市出身の森田茂さんの力強い展示を鑑賞した後は外にて、日本庭園を思い思いに散策して、楽しみました。

【kitchen house つくばショールーム】

カゴログの中に入ったようなショールーム。こちらの、見どころは2015年にミラノ/サローネに展示をした隈研吾デザインのコンセプトキッチン「ROR」ゆったりとした敷地の中で、ラグジュアリーなキッチンをじっくりと体感することができました。ICとして感じているのは、住まいのインテリアのキメテの一つは、間違いなく、キッチンであるという事。昨年11月の本間美紀先生の講演会のお話にもありましたが、やはり美しいインテリアには、細かなりつつひとつのこだわりを積み重ねていくことが必要であるという事をあらためて感じました。

伊藤 千晶

いわき「民藝展」見学会&忘年会と役員会開催 2023年11月28日(火)

いわき「民藝展」見学会

今回の企画はいわき支部の企画で開催されました。役員会後、佐藤圭一郎学芸員のセミナーを聴講。民藝運動を担った和歌山県民の活動について年代を遡って解説していただきました。民藝は柳宗悦が浮世草子時代の名物の職人によってつくられた民藝の美しさをひかされたことから始まりました。各地域で暮らしの中で使われてきた手仕事の数々。青森の刺子から焼き物、竹細工、ガラスなど手仕事のすばらしさを感じる事ができました。「衣・食・住」をテーマにまことに「美はくらしのなかにある」です。全国7拠点をめぐる展示会ですが福島県はいわき市のみ開催とのことで貴重な見学会でした。今回の見学会は、山形のコーディネーターさんの参加もあり13名の参加となりました。



11月28日(火)民藝展に行ってきました。お恥ずかしい話「民藝ってなに?、という思いで参加したので見学の前に、佐藤圭一郎さんより民藝の歴史についてのお話を、民藝的工芸=民藝という中で日々の生活の中にある美をいっしょに、素材や作り手に思いを寄せ日常用品に着目したこと。「衣・食・住」を通して他力性を考慮し、地方の風土や受け継がれていく伝統の方で作られている品々の説明をしていただきました。その後の見学はポイントを押さえながら見る事ができました。それらの品々には、どこか新しさや驚かしさを感じさせられ、目々から大切に使用されていた「オーラ」がにじみでていて何だか、ずっと使っていけるものを選び生活したいという思いになりました。皆さんも一度足を運び実際に見てみると愛らしさ、温かい気持ちに繋がって民藝愛を後にすると思います。

佐藤 悦子

久しぶりの忘年会開催!

民藝展を見学後、忘年会会場の新緑子ハイブ。コロナで控えていた忘年会がやっと再開されました。お久しぶりの年と楽しいゲーム。賛助会員の皆様にはご協賛品の協力、ご参加いただき有難うございました。役員の皆様いつも楽しいゲームで盛り上げていただき感謝です。



何年ぶりでしょうか、いわき新緑子ハイブでFIC忘年会をしました。

午後からのセミナー後の忘れ忘年会です。10数名の参加をいただき、賛助会員の皆さんの協賛もあり美味しいグルメとお酒を堪能し、ゲームを楽しみました。来年もまたコロナ以前のように入人数で忘年会を楽しみたいですね。忙しい中、準備や参加をいただきましてありがとうございました。 軍田 俊彦

若手インテリアコーディネーター協会 30周年記念パーティー

IC CA 30周年おめでとうございます!令和6年3月12日(火)アートホテル森野にて若手インテリアコーディネーター協会の30周年記念イベントが開催されました。「若くインテリアコーディネーターのこれから」をテーマに1部 高井幹万氏の講演、2部は高井幹万氏と若手IC小池祥子氏のトークセッション、そして30周年記念パーティー、FICから新沼さん、伊藤千晶さんへ出席していただきました。

